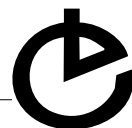


議会だより とくのはしま



第183号

平成28年5月1日

発行：徳之島町議会 編集：議会広報編集委員会 〒891-7192 鹿児島県大島郡徳之島町亀津 7203
TEL 0997 (82) 1111 FAX 0997 (82) 1101



2月5日に開催された三カ町議会議員大会（伊仙町ほーらい館）

第1回定例会

3月8日～18日

☆ 審議された案件と議決結果、議会の動き	10
☆ 一般質問（7氏登壇）	11
☆ 研修レポート・編集後記	16

3 月定例会で審議された案件と議決結果

案 件	議決結果
(議案)	
・専決処分(鹿児島県市町村総合事務組合の共同処理をする事務の変更及び同組合同規約の一部変更)	承認
・特別職の職員の給与の特例に関する条例の制定	原案可決
・徳之島町教育委員会教育長の給与及び勤務時間の特例に関する条例の制定	原案可決
・行政不服審査法の改正に伴う条例の整備に関する条例の制定	原案可決
・徳之島町職員の退職管理に関する条例の制定	原案可決
・徳之島町嘱託駐在員報酬及び費用弁償条例の一部改正	原案可決
・徳之島町職員の分限に関する手続き及び効果に関する条例の一部改正	原案可決
・徳之島町職員の給与に関する条例の一部改正	原案可決
・徳之島町税条例の一部改正	原案可決
・徳之島町固定資産評価委員会条例の一部改正	原案可決
・徳之島町後期高齢者医療に関する条例の一部改正	原案可決
・徳之島町営住宅設置及び管理条例の一部改正	原案可決
・過疎地域自立促進市町村計画の策定	可決
・町営土地改良事業徳之島用水地区(維持管理)計画書の策定	可決
・徳之島町道の認定	可決
・人権擁護委員候補者の推薦(安田 司 氏)	適任
・人権擁護委員候補者の推薦(徳山 とし子 氏)	適任
・平成 27 年度一般会計補正予算(第 10 号)	原案可決
・平成 27 年度簡易水道事業特別会計補正予算(第 4 号)	原案可決
・平成 27 年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第 4 号)	原案可決
・平成 27 年度農業集落排水特別会計補正予算(第 4 号)	原案可決
・平成 27 年度介護保険事業特別会計補正予算(第 3 号)	原案可決
・平成 27 年度公共下水道事業特別会計補正予算(第 4 号)	原案可決
・平成 27 年度後期高齢者医療特別会計補正予算(3 号)	原案可決
・平成 27 年度水道事業会計補正予算(第 4 号)	原案可決
・平成 28 年度一般会計歳入歳出予算	原案可決
・平成 28 年度簡易水道事業特別会計歳入歳出予算	原案可決
・平成 28 年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出予算	原案可決
・平成 28 年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出予算	原案可決
・平成 28 年度介護保険事業特別会計歳入歳出予算	原案可決
・平成 28 年度公共下水道事業特別会計歳入歳出予算	原案可決
・平成 28 年度地域包括支援センター事業特別会計歳入歳出予算	原案可決
・平成 28 年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出予算	原案可決
・平成 28 年度水道事業会計歳入歳出予算	原案可決
・徳之島町行政不服審査会条例の制定	原案可決
・徳之島町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正	原案可決
(発議)	
・議員派遣の件	原案可決
・徳之島町議会基本条例の制定	原案可決
(陳情)	
・軽度外傷性脳損傷、脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情	継続審査
・精神障がい者の交通運賃割引を求める意見書提出を求める陳情書	継続審査

1 月臨時会で審議された案件と議決結果

案 件	議決結果
(議案)	
・専決処分(徳之島町税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例)	承認
・徳之島町医学修学資金貸与条例の制定	原案可決
・徳之島町医学修学基金条例の制定	原案可決

いっばん質問

3月定例会には、7人の議員が登壇し、保健福祉、食品加工センター、町財政、教育振興、ふるさと納税、世界自然遺産登録など町政全般にわたり執行部の考えをたしました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。

ピロリ菌検査に助成を

宮之原 順子 議員



なっている。ピロリ菌検査を助成対象にできないか。

従来の検査を奨励

答 政本健康増進課長
ピロリ菌検査は、国

問 ピロリ菌の除菌を推進することで胃がんの死亡者が減り、将来的には治療に掛かる医療費も抑えることができる。町の検診では助成がなく、3240円の自己負担に

が定めるがん検診実施の指針には含まれていない。通常のバリウム検査の方が胃の全体像を診ることができ、胃がんに限らずその他の消化器疾患も見つけるこ



健診を待つ町民の皆さん

とができる。

高齢者にやさしいまちづくりを

問

買い物物の行き帰りの途中で道端に腰を下ろし休んでいる高齢者の方を見かける。施設方針にも人と環境にやさしいまちづくりを進めるとあるが、元気な高齢者を支援するためにもベンチの設置ができないか。

関係機関と協議

答

豊島介護福祉課長
買い物物の行き帰り途中の休憩用に設置する場合は、場所の確保、維持管理、交通の妨げや災害時の人的被害等が考えられるので各関係機関と協議を行い、どのような方法が可能か検討したい。

華やかな冠婚葬祭の自粛を

問

以前、集落で冠婚葬祭の決まりを作っていたが、長く続かなかつたようだ。知名町は行政、区長、女性連、議員などで冠

婚葬祭の金額等を決め、定着している。今後、年金生活者は増えていく。町でも話し合いを行い、自粛すべきではないか。

集落の総会等で

答 深川社会教育課長
本町でも昭和40～50

年代にかけて各集落でルール作りがなされたが、時間の経過とともにルールが守られなくなっている。今後は、それぞれの集落総会等で広く意見を聞き、十分に協議して取り組めるよう働きかけたい。

8 ～ 10 期検討を

幸 千恵子 議員



問 国保税の納期5期制は、1期当たりの納付金額の負担が大きい。年間30万円の税額の場合1回6万円と高額だが、10期制にすると1回3万円だ。全国では10期の自治体も多い。納めやすい納期設定として8～10期を検討できないか。



発送される納付書

(次ページへ続く)

(前ページからの続き)

分納で対応

答 政本健康増進課長

納期の 5 期制は、保険税の完納者へのスムーズな保険証の切り替えと収納率の向上を図るため。1 期当たりの負担が大きいい方には、納税相談を行い個別に分納を実施しているの、利用してほしい。

婚活イベントを自治体で

問 出生数は婚姻数に比例して増加するので、人口維持・増のためには結婚数の増が重要。島内には独自の男女が多い。青年団の取り組みとは別に、年 1 回でも 3 町合同の婚活イベントに取り組んではどうか。

島単位の取り組みが有効

答 住田企画課長

実施に当たっては、他の 2 町と連携した島単位での取り組みが有効。実施

内容は、両町及び事業主管課との調整により検討していくことが必要。

美農里館の現状と今後は

問 美農里館は、スタートして 4 年経過したが、島内外の販売卸先とその数は、日本食研との業務提携に向けた取り組み状況と契約時期の予定は。4 月からの新体制内容は。

美農里館は、スタートして 4 年経過したが、島内外の販売卸先とその数は、日本食研との業務提携に向けた取り組み状況と契約時期の予定は。4 月からの新体制内容は。

監査終了後に仮契約

答 幸田地域営業課長

現在、ネットショップと三越伊勢丹への御中元商品の製造を行い、島内外へ十数件販売している。日本食研とは、監査終了後に仮契約で製造開始予定。4 月からの雇用体制は、職安に募集を掛け新たに雇用の契約をする。

加工場の建設も視野

答 高岡町長

今年度中に日本食研の衛生面、管理面の監査を受け、商品の供給をしたい。今後は、三越伊勢丹グループとの連携も決まっている。生産が追いつかないことも予想され、新たな局面を迎え、一次加工品の加工場の建設も視野に入れなければならない。

町財政への影響は

町財政への影響は

勇元 勝雄 議員

また、ふるさと納税の拡充などの行政努力により、大きな影響はないと考える。



問 町の財政が苦しくなれば、はじめに職員の給料カット。次は、公共料金の値上げと影響を受けるのは町民である。前回、36 人採用に伴う財政への影響はないという答弁だったが、その答弁の根拠は。

大きな影響はない

答 岡元総務課長

事務事業の選択と公共事業の平準化、起債の償還額を下回る地方債の発行や交付税措置のある地方債の計画的活用、ストックマネジメントに基づいた未利用資産の売却促進や有効活用等の資産債務改革を進め、

神領浜キャンプ場整備を

問 県道に「神領浜キャンプ場」と立派な看板が立っているが、現状はくみ取りのトイレが建っているだけだ。世界自然遺産登録に向けて観光客に喜ばれる施設にするため、トイレ、駐車場、キャンプ場、取り付け道路の整備はできないか。

採択を目指し再度要望

答 幸田地域営業課長

神領浜キャンプ場の整備については、昨年地域振興推進事業の一次要望として提出したが、不採択と

なった。県の指摘等も踏まえ、再度事業申請を行っていく。

亀徳小学校の整備は

問 亀徳小の体育館、音楽室、理科室への渡り廊下、災害時の避難道路の整備はできないか。

また、体育館の天井の補強はできているが、壁の補強はしないのか。もしくは、体育館の建て替えの計画はないか伺う。



渡り廊下の設置が待たれる亀徳小学校

定例会の様子をインターネットでご覧いただけます

町のホームページから「議会中継」にアクセスしてください。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

☎ 82-1111 (内線 331 番)

調査の上整備

答 向井学校教育課長

災害時の避難道路は、調査の上整備を行っていきたい。その他は、各学校の要望を整理し優先順位を付けて整備していく。

なお、体育館は大規模改修を過疎計画に計上しているところである。

その他の質問

○要望書の処理状況について

○子育て支援について

○農地法について

待機児童対策は

松田 太志 議員



問

子宝・長寿の島と言われながらも全国と同様に待機児童があり、働きたくても働けない保護者がいる。今後、町としてどのような取り組みが必要か伺う。

答 豊島介護福祉課長

子ども・子育て会議で検討

潜在保育士の掘り起こしや保育士資格取得を希望する高校生への島帰帰奨学金制度など「子ども・子育て会議」で具体的な方策の検討を行う。必要であれば国・県へ要請を行い、早期に対応したい。



忙しい保育現場

待機児童ゼロへ

答 高岡町長

町として、待機児童をゼロにする政策をとらなければならぬと思う。保育園関係者等と意見交換し、何をしなければいけないかを把握したい。

その他の質問

○徳和瀬総合運動公園にある児童遊具について

○町歌について

特別支援教育の充実

是枝 孝太郎 議員



問

特別支援教育の体制づくりは。また、教員・支援員の研修を充実させ、児童生徒に合った対応を行っているか。そして、徳之島町再生事業で特別支援員免許を持った方の採用はできないか伺う。

答 秋武教育長

今後も要望

また、県の研修等にも毎年2人ほど派遣している。

特別支援学校の教員にも特別支援学校教諭免許を持っていない者がいる現状では、通常学校の特別支援学級に免許を持った者を全配置するのは無理である。しかし、特別支援教育の充実のために、今後も配置は要望する。

20人の支援員を配置

答

向井学校教育課長
町内の小・中学校に現在20人の特別支援教育支援員を配置している。
来年度の研修は、就学指導専門の先生による研修など年3回予定。

観光資源の活性化

問

地域資源を生かした特産物の販売ルートは。課内の信頼関係構築のためにどのような組織づくりを行ってきたのか。
徳之島観光、特産物の宣伝の充実は。

(次ページへ続く)

(前ページからの続き)

積極的な

情報発信

答 幸田地域営業課長
地域資源を生かした

特産品として、現在三越伊勢丹の御中元商品の製造を行っている。

また、イベントに全職員の参加協力を要請しコミュニケーションを図ってきた。

関東・関西のイベントの支援協力を行い、徳之島観光の積極的な情報発信をしPRを行っている。

道路整備の

計画は

問 観光拠点に位置付けられている美農里館

への取り付け道路の整備はできないか。また、井之川A幹線の危険箇所改良整備計画について伺う。

改良が

必要不可欠

答 幸田地域営業課長
美農里館への取り付け

け道路は、県道からの観光バスの乗り入れが大変難しく、今後改良が必要不可欠。補助事業で考えていきたい。

地域と連携を

図りながら

答 亀澤建設課長

井之川A幹線の急傾斜地は、地元要望書としての字図混乱解消及び用地同意書等各書類を受理後、事前審査を行い、地域と連携を図りながら県と協議していきたく考えている。



改良が望まれる美農里館入口

遠征費全額助成を

鶴野 将光 議員

円、全国大会1万円を、1人につきそれぞれ補助している。



問 本町の子どもたちは、芸術・文化・スポーツあらゆる分野で優秀な成績を修めているが、それに伴う遠征費の負担が大き

い。亀津ヤンキチシキバンの精神で支援するために、ふるさと納税の活用を含め予算的な手当を施すべきでは。

1人につき
4千円～1万円

答 向井学校教育課長

小学校は、亀津小学校吹奏楽部への県大会出場に際して1人につき4千円を補助。中学校は、郡・県大会4千円、九州大会5千

補助金の約8割が 遠征助成金

答 深川社会教育課長

大島地区・九州プロックススポーツ少年団大会は半額、県スポーツ少年団大会は、1人当たり3千円を上限に助成している。スポーツ少年団補助金の約8割が遠征助成金となっている。

提案があれば検討

答 住田企画課長

ふるさと納税の用途の一つに教育・文化・スポーツの振興に関する事業を掲げている。担当課より提案があれば、活用推進協議会において協議することができ

HP改善で転入増を

問 国勢調査で、十島村の人口が15・4%、101人増となった。同村

の*HPでは、そこでの暮らしをイメージしやすい情報提供により、転入増につながっている。本町も移住者への間口を広げるためにHPを改善するべきでは。

(*HPとは、ホームページの略。)

改善に向け検討

答 住田企画課長

町民の生活や移住者の声などを紹介している特徴ある他市町村のホームページ内容を参考にし、改善に向けて検討していきたい。

ふるさと納税で奄美の トップランナーに

問 ふるさと納税は、即効性のある自主財源

確保策であり、地域産業活

性化の切り札にもなる。自主財源増をさまざまな事業の展開へとつなげ、奄美のトップランナーを目指しふるさと納税に本気で取り組むべきでは。

強化していきたい

答 高岡町長

ふるさと納税は、今後強化しなければならぬ。現在、新たな商品のアイデアを募っているところである。



現在の商品ラインアップ

その他の質問
○世界自然遺産登録について

目指せ世界自然遺産登録

福岡 兵八郎 議員



問 奄美大島、徳之島、琉球（4 町村）が、世界自然遺産登録の対象候補地になっているが、これまでの経過と2回延長になった理由と今後の計画について伺う。

目標平成30年

答 住田企画課長

平成25年12月に対象候補地として決定されたが、国立公園化に向けた地元関係者との合意形成に時間を要し登録目標を平成30年に延長した。奄美群島国立公園として、本年9月までにパブリックコメントを開始できるように進めている。

ICT教育の効果は

問

平成27年に母間小学校からスタートしたICT教育の導入目的と経過を示せ。

また、その効果ならびに今後の推進方策、本町の学校教育行政がどのように変わるのか伺う。



タブレットを使った授業風景（母間小学校）

複式学級解消へ期待

答 向井学校教育課長

今年度、山小・花徳小・母間小をネットワークで結び、授業改善に向けて3年間の実証実験が始まった。ICT教育により児童のコミュニケーション能力等が養われる。また、複式学級の解消などが期待される。

待機児童をゼロにせよ

問 国は、平成29年度末までに待機児童をなくすと方針を打ち出している。三つ子の魂百までというように、乳幼児期は人間形成の最も大事な時期である。本町の待機児童は14人だが、どのような理由があっても待機児童をゼロにすべきでは。

豊島介護福祉課長
保育士確保が非常に

早急に解決したい

豊島介護福祉課長
保育士確保が非常に

関係者と協議

答 高岡町長

町として待機児童ゼロを目標にしたいと考えている。保育士確保の問題も含めて関係者の意見を聞き、取り組んでいく。

次回の定例会は6月です

みんなで議会の傍聴してみませんか。手続きは簡単で、傍聴席入口の受付名簿に住所、氏名を記入していただくだけです。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

☎ 8 2 - 1 1 1 1 （内線 331 番）



議会傍聴の様子

議会の動き

1月	2日 平成28年成人式	5日 平成28年徳之島町消防団出初め式	8日 第2回議会だより編集委員会	14日 平成28年公明党奄美ティダ委員会並びに新春政経懇話会（奄美市）	18日 第3回議会だより編集委員会	21日 三力町議会議員連絡協議会役員会（伊仙町）	22日 第1回臨時会	26日 徳之島観光連盟新年会（伊仙町）	28日 町村議会議員研修会（鹿児島市）	28日 議会基本条例策定に係る住民説明会	2月	5日 春植え推進出発式	3日 三力町議会議員大会（伊仙町）	3月	4日 議会運営委員会	7日 劇団四季公演の鑑賞及び交歓会	8日 第1回定例会開会	15日 各中学校卒業式	18日 第1回定例会閉会	22日 第1回議会だより編集委員会	24日 各小学校卒業式	26日 自衛隊ヘリ墜落現場及び慰霊碑周辺清掃作業及び追悼式	31日 第2回議会だより編集委員会	8日 秋田県横手市議会展行	12日 奄美群島議会議員研修会（奄美市）	16日 町村議会議長定期総会並びに離島議長会研修会（鹿児島市）	18日 第7回議会基本条例策定調査特別委員会	25日 市町村長・議会議長合同会（奄美市）
----	-------------	---------------------	------------------	-------------------------------------	-------------------	--------------------------	------------	---------------------	---------------------	----------------------	----	-------------	-------------------	----	------------	-------------------	-------------	-------------	--------------	-------------------	-------------	-------------------------------	-------------------	---------------	----------------------	---------------------------------	------------------------	-----------------------

三カ町議会議員大会及び研修会

徳之島三カ町議会議員大会及び研修会が2月5日、伊仙町ほーらい館で開催されました。三町の議会議員、三町長、禧久伸一郎県議、林健二県議が出席し、会長あいさつ、来賓祝辞、国政報告(メッセージ朗読)、県政報告がありました。また、

徳之島町から提出された議題が採択されました。その後、県町村議会議長会の三原誠氏による「一般質問と質疑について」と題して研修が行われました。

徳之島三カ町の提出議題は、次のとおりです。

徳之島は、奄美群島の中間に位置し、四方を海に囲まれ、航空路交通に対する依存度が極めて高く、その路線拡充は島民にとって産業経済の安定的発展、交流人口の拡大等、地域発展を展望するうえで不可欠の課題であります。

また、奄美・琉球の世界自然遺産登録を見据えて年々注目度も増し、観光振興にも官民一体となって取り組んでおり、今後観光交流人口の拡大もおおいに期待されるところであります。

現在、奄美く成田間のLCC航空路線は利用客も多く、堅調に推移し奄美本島への交流人口の拡大に寄与していますが、徳之島や各島からの乗り継ぎには課題も多く、今後徳之島く離島間の便も検討すべきだと考えます。さらに、一昨年度より奄美群島航路航空路運賃軽減事業も導入され、群島内在住者にとっては、運賃の低廉化が図られました。が、本土在住者にとっては適用されず、「割高な航空運賃で気軽に奄美に行けない」との声も多く、本土からの利用客増加には直接的にはつながっていないのが現状です。

そのなかでも、関西圏には奄美・徳之島出身者及び2世3世が約30万人在住しており、郷友会イベントや介護

帰省、冠婚葬祭などの帰省でLCC航空路線が利用できれば、出身者にとっても大きな負担軽減につながるものであります。

LCC航空路線の飛躍的な発展は地域経済に与える影響も大きいとして、国交省の観光立国戦略強化の一つにも挙げられており、昨年6月に徳之島空港利用促進協議会や徳之島航路運賃対策協議会・観光連盟等から関西直行ジェット便就航に向けた要望書が各関係機関に提出されております。

人の往来に要する費用の低廉化は、奄美群島振興開発特別措置法の基本方針第4条第2項の5号並びに第23条第1項にもうたわれており、

今後世界自然遺産登録が実現しますと、国内に限らず国外からの観光客の来島も予想され、さらにはこの路線開設により徳之島全体の産業・経済の活性化・定住促進が図られ、登録後の地域発展の起爆剤ともなりうるものであると確信いたします。

つきましては、関西と徳之島間のLCC航空路線開設の実現への特段のご配慮を賜り、強く要望いたします。



提出議題を読み上げる保岡盛寿議員

現在、奄美く成田間のLCC航空路線は利

用客も多く、堅調に推移し奄美本島への交流人口の拡大に寄与して

いますが、徳之島や各島からの乗り継ぎには課題も多く、今後徳之島く離島間の便も検討すべきだと考えます。

LCC航空路線の飛躍的な発展は地域経済に与える影響も大きいとして、国交省の観光立国戦略強化の一つにも挙げられており、昨年6月に徳之島空港利用促進協議会や徳之島航路運賃対策協議会・観光連盟等から関西直行ジェット便就航に向けた要望書が各関係機関に提出されております。

議員研修レポート

平成 28 年 2 月 12 日、奄美市において奄美群島市町村議会議員研修会がありました。研修の内容についてレポートします。

「議会の使命と議員の役割」

講師 全国市議会議長会調査広報部 本橋 謙治氏
 議会議長 木原 良治

1. 議会の活動に対する住民の評価

議会は、住民にどのように評価されているのか大きく3点に要約されます。

- 評価1 議会は何をしていのかから
- 評価2 行政の停滞は議員に起因している
- 評価3 首長（執行部）の追認機関になっっている

住民の議会に対する評価はきわめて厳しいものです。そのことは、議会が住民に対して「開か

「議員報酬」などの量の改革を望んでいます。一方議会は、「反問権」、「自由討論」などの質の改革に取り組んでいます。住民と議会には、改革に対する考えに大きな隔たりがあることを議会自らが認識する必要があります。そして、住民への説明と理解を求める努力は、地方創生の時代にあつては待ったなしの状況です。

徳之島町議会は議会基本条例を3月議会で制定し、「開かれた議会」「わかりやすい議会」へと議会改革を推し進めています。しかし、条例制定が目的ではなく、その条例を今後どのように生かすのが本旨であり、本町議会の真価が試されようとしております。

2. 議会改革に対する住民の評価（議会の取り組みに対する住民の考え）

住民は、「議員定数」、

2. 議会改革に対する住民の評価（議会の取り組みに対する住民の考え）

住民は、「議員定数」、

平成 28 年 1 月 26 日に鹿児島市において町村議会議員研修会がありました。研修の内容を各常任委員がレポートします。

総務文教厚生委員 宮之原 順子

「地域の魅力発信と琴線に触れる『おもてなし』」

「地域資源を磨き交流人口を増やすか」

講師 鹿児島県観光プロデューサー 奈良迫 英光氏

はじめに、少子高齢化の進展で人口は今後30年間で40万人減少し、65歳以上の人口が40%を占める。その結果労働人口が減少し、運輸、宿泊、外食、介護等労働力の確保が課題であることを指摘された。そして、50数年前と現在を比較し、今地域は大変な時代になつており、鹿児島県の将来は農業と観光であると訴え、下記の項目ごとに講演された。

1. 最近の観光動向

- (1) 団体から個人旅行、宴会型旅行から地域文化に触れる旅行へ
- (2) 品質の高い商品やストーリー性のあるものが人気

2. 地域資源とは何か

- (1) そこに住む人々の暮らしや六月灯、八月踊りなどの伝統文化、先祖崇拜の風習等
- (2) 郷土料理、ふるさと産品、製造元の見学
- (3) 珍しい自然現象、夕日、草花、生物の生態
- (4) 長寿・子宝の環境

3. 地域資源を活用した観光客誘致の事例

- (1) ローカル鉄道の食とカフェのコラボ
- (2) グリーンツーリズム体験と農家・漁家民泊
- (3) なかなか行きにくい位置、条件を生かす

4. 有効的な情報発信の在り方

- (1) 大都市圏での宣伝は費用対効果を分析し慎重に対応を、パンフの配布は慎重に
- (2) 他地域にはない尖った地域資源を商品化して発信、オンライン
- (3) どの層を誘致したいのか、何をPRしたいのかを明確にする、地域連携が重要
- (1) 生産者の顔が見える商品が売れる、安全・安心な食材の提供、品質保証
- (2) 田舎の魅力が都会の住民を魅了する、メディアが取り上げたくなる情報の提供
- (3) 希少性、社会性、経

(次ページへ続く)

(前ページからの続き)

済性の構築が持続でき商品・地域となる

- (4) I、Uターンの受け皿づくり、交流人口をいかに増やすか
- 6. 琴線に触れるおもてなしとは

- (1) 田舎の良さにこだわって、伝統的な食事の提供、地元の言葉で語る、茶いっぺの心
- (2) 地域の人が我が町の魅力に気づきその良さを語る事が大切、郷土愛の構築
- (3) 観光客を温かく迎える、来訪者にまた行きたいと思わせる地域になりうるか。

以上の内容で話された。地域の住民が歴史や文化を地域の先輩から学び、住んでいる町を誇りに思い、観光客に伝えることがおもてなしになる。さりげない接遇、見えないところのおもてなしが大事であるとの言葉が印象に残った。

「TPPと今後の日本経済」

講師 (株)農林中央金庫総合研究所客員研究員 蔦谷 栄一氏

経済建設委員 幸 千恵子

TPPは全面的に関税を撤廃するというのが基本。日本の農産物について、完全撤廃時期が、TPP発効から7年経過後は改めて、日本・アメリカ・オーストラリア・カナダ・ニュージーランドの五カ国と再協議される可能性がある。TPPの基本的な理念、関税の撤廃、完全輸入の自由化の旗印は全く下ろされていない。TPPのメリットを扱うのは大企業であり、東京を中心とした大都市圏で、おそらく地方と大都市との経済格差は広がってくるのではない。

- 1. 豊富な地域性・多様性
- 2. 極めて高い水準の農業技術
- 3. 高所得かつ安全・安心、健康に敏感な大量の消費者の存在
- 4. 都市と農村との極めて近い時間距離
- 5. 里地里山棚田等の優れた景観
- 6. 豊かな森と海、そして水の存在

編集後記

皆さんこんにちは。今回の3月議会で選挙から丸2年が経ちました。この2年間、我々議員は町民のために何ができただろうか。4億6千万円の土地問題、36人の大量職員採用は町民が望んだことでしょうか、非常に疑問に思います。

町政の基本は「住民の福祉の向上」を図ること、議会の使命は行政運営の批判と監視であります。しかし、現在の議会は議会としての仕事ができているのでしょうか。

前回の編集後記に鶴野議員が、ロボット社会に例えて「ロボットに欲をインプットしなかったら、究極にクリアなガラス張りの政治ができます」と記しています。前ウルグアイ大統領ホセ・ムヒカさんの言葉でも「欲が

政治を悪い方向に変える」とあり、今回の木原議長レポートでも住民の議会に対する評価が書いてあります。議会基本条例(案)を配布した際も「以前制定した政治倫理条例も守れない議員が基本条例を守れるか」と多くの厳しい意見をいただきました。その言葉を聞いて、議会は町民目線の政治をしなければ町民からの信頼を得ることはできないと思いました。

議員は町民の選良であることをもう一度認識し、自分の仕事を見直し、住民福祉の向上を目指し、町民目線の政治をしなければなりません。そして、町民の皆さまも我々議員を批判・監視し、町全体で子どもたちに誇れる徳之島町にするために協力をよろしくお願いたします。

文責 勇元 勝雄